

サトイモ科

ユキモチソウ

Arisaema sikokianum Franch. et Sav.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… VU

■ 県内分布

阪神

■ 国内分布

本州(近畿)、四国

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取	○	特異な生態		分布の限界	○
				希少	○

詳細は非公開

■ 特記事項

県内では1ヶ所に知られている。隔離分布。

■ 保護上の留意点

生育地の保全が重要である。



写真提供:小林禮樹

■ 種の概要

山地の林下に生える。葉は2個で、3-5枚の小葉を鳥足状につける。小葉は菱状楕円形で、鋭尖頭、鋸歯があるかまたは全縁。仏炎苞は紫褐色で、口辺部は白色、先は尾状に伸び、長さ7-12cm、白条が隆起する。花期は4-5月。付属体は白色、棍棒状で、先端は頭状または扁球形にふくらみ、径17-25mm。